

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 3 月 29 日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670105180号
法人名	有限会社。ソフィア・インター・ナショナル
事業所名	グループホーム 山田の里
所在地	鹿児島市山田町4番地3 (電話) 099-264-0850
自己評価作成日	平成25年3月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成25年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

嚥下障害予防のために、毎回食事の前には口腔体操や早口言葉を実施しています。食後は概ね自立の方にも口腔ケアをしています。口腔内を清潔保持に努めています。戸外レクリエーションにも家族様に声かけを行い参加してもらっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、スーパーマーケット・郵便局など日常生活に便利な社会資源に恵まれた市郊外の住宅地に立地している。建物も白を基調とした清楚な作りで、玄関前の通路には季節の花鉢が多数置かれ、明るい雰囲気漂っている。男性の利用者も多いが個別対応の工夫や努力で穏やかな生活の確保につとめている。また緊急時に職員個々が自宅よりホームまで何分で集合できるか実測して対応できるようにしており利用者・家族は安心して管理者、職員を信頼し支援をうけている。町内会に加入し校区の行事へも参加。また「山田の里」便りを年1回回覧板に添付し、地域での理解を求め交流が深まるよう努力している。今後は救急ボランティア事業所として更に地域に貢献できることが期待できるホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎月の全体会議で地域密着型サービスの意義を確認し、グループホームでの生活の継続支援ができるように理念を掘下げて全職員で共有し実施している。	母体法人とは別に、ホーム独自の理念を掲げ玄関と入口に掲示されている。職員は全体会議で理念を掘下げ共有実践につとめている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として町内会に加入している。年1回は山田の里だよりを広報として入れてもらっている。又、隣近所の方々との声かけ挨拶等をしてコミュニケーションをとっている。	町内会に加入し清掃活動や校区の運動会・文化祭・十五夜などに参加している。年1回「山田の里」便りを回覧板に添付し地域への広報を図り交流を深めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	人材育成の貢献として、ボランティアの受け入れや教育実習職場体験等の受け入れを積極的に行っている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見等も話し合いその経過を報告したりしている。現在、取り組んでいる事案等も運営推進会議の時に報告し家族の意見を取り入れ日々の行事等に繁栄している。	会議は2ヵ月に1回開催、行政・家族・地域代表などが参加してホームの現況及び取り組みや外部評価の結果を報告するなどして、参加者からは意見・提案を受け、サービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	日頃より市町村担当者の方々と連絡を取るようになっている。認定更新時は市町村の担当者にも利用者の暮らしぶりを伝えて連携をとっている。	福祉及び介護保険の担当者とは日頃よりこまめに連携を図っている。特に生活保護受給の利用者については市に出向き年1回話し合いをするなど協力関係を維持している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月1回、身体拘束についての勉強会も兼ねておこなっている。利用者の方が外出しそうな様子の時には、一緒に散歩等に出かけている。一人一人に合わせた見守りや玄関に鍵をかけるに自由な暮らしができるように支援している。	月1回の全体会議時に身体拘束廃止の研修を実施している。玄関の施錠はせず、ドアの鈴音で利用者の出入りを把握し身体拘束のないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待委員会を設置市、定期的に勉強会を行なっている。夜間帯に起き帰宅願望を訴えられたりした時には、事務所でお茶を飲むなどしてゆったり出来るようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見人制度については、社会福祉協議会が主催する研修に参加している。研修の報告を全体会議の時に、職員にも説明している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に利用者及び家族を交えて説明をおこなっている。利用者が入院され状態の変化があった時などは、主治医や家族の方々とも何度も話し合いを持ち家族の方も納得されて退去の運びとしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族には毎月、山田の里便りを発送したり家族会及び運営推進会議等に、参加して頂いて意見交換を行ったり又、苦情、相談等も問いかけて、何でも言うて貰えるような雰囲気作りに努めている。	家族会や運営推進会議での意見交換だけでなく、面会時や戸外レクリエーションなどで更に意見交換を行い、対応については全体会議で検討し運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設長も必ず参加して、全体会議、勉強会を月1回行い意見を聞くようにしている。管理者は職員の要望や意見を聞くように心がけて、不満や苦情等を聞き解決出来る様に努力している。	施設長・管理者を含めた職員会議を月1回実施する中で、職員の意見を聞き運営に反映させている。資格取得及び外部研修も、事業所全体協力的である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	施設長も頻繁に現場に来ており、利用者とお茶を飲んだりし会話をされている。個別に職員にも業務の不満や悩み等も聞いている。職員の資格取得に向けた支援も行なっている。		

鹿児島県 グループホーム山田の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会には積極的に参加し受講後には、毎月の全体会議で報告してもらい、研修報告書を全職員が閲覧できるようにしてしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区のグループホーム連絡会主催の、研修会や管理者研修会等にも参加して、同業者との交流を通じてネットワーク作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前相談から、本人や家族より十分に聞き取り、本人の要望を重視し、援助してもらいたい事を見極めて、今後の生活に安心と信頼に向けた関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の際に本人、家族との話し合いを十分にし、不安な事、要望等にもゆっくり聞くようにしている。本人、家族と同じ目線から話が出る雰囲気努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に本人、家族からも十分に聞き取りを行ない、サービス内容等同意を得て進めているが「その時」に必要なとする支援を見極めサービスするように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にするもの同士として、職員は常に人生の先輩であると言う考えを共有している。郷土料理などの話を聞いたりして、取り入れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃から本人の状態をこまめに報告、支援に努めている。本人と家族の絆を大切にす為、家族の方々の意見等も聞いたり、行事等にも無理のない程度で参加していただけるよう声かけしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの方々が気軽に訪問出来る様にしている。希望の申し出があった時など命日や墓参りなどに出かけている。	日常的には近くのスーパーマーケットでの買い物に同行している墓参りや行きつけの美容室の同行支援もして、なじみの人や場との関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	席の配置等にも配慮して、利用者同士が楽しく過ごせる場面作りをしている。時には調整役となるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他事業所に移られた場合には、ケアプランやアセスメント、支援状況等を手渡し情報交換を行なっている。又、馴染みの職員や利用者が面会に行くなどして関係性を保っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の生活暦を含め、暮らしの希望や意向等については、入居前相談から聞き取りをし、家族を交えて検討して本人の意向に沿えるように努めている。	利用者の思いや意向は日常会話や入浴時に問いかけ把握し申し送りや情報共有し、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の段階でその方の生活暦や嗜好、趣味等も家族から情報を聞いて、その人がその人らしい生活を、送れるサービスに努めて入居後も昔話などから状態を把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎朝、バイタルチェックを行い、心身状態を確認し、日中の過ごし方を見守りして夜勤者にもその日の出来事を申し送りまた、記録もしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的にモニタリングやカンファレンスを行ない、状況の変化が生じた時もその都度担当者会議や家族とも話し合い、状況に応じた介護計画を作成している。	定期的にモニタリングやカンファレンスを実施し検討する中で計画の見直しを図っている。各スタッフの意見を反映させ現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践、排泄、食事量等も記録に残し、全職員が確認できるようにしている。又、家族にも1ヶ月毎に送付し情報を共有し介護計画の見直しや実践に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の要望はその時々において、対応できるようにしている。緊急の外来受診送迎等も必要な支援はしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者の方が安心して地域で暮らし続けるよう、警察や町内会、地域住民との意見交換する機会等を設けている。本人の希望により訪問美容や訪問鍼灸のサービスを利用してもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による訪問診療を定期的実施している。又、本人のかかりつけ医がある場合には本人、家族の意向に添えるように実施、診察の際には、情報提供及び健康管理表のコピー等を渡している。また異変時はそれぞれの担当医に相談している。	本人家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関の定期的訪問診療もあり受診同行や家族への情報提供などに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、常に利用者の健康管理や身体状況等の変化に応じたサービスが出来るようにしている。看護職員が不在の時は、介護職員の記録をもとに確実に連携を取っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者が入院する事になっても身体状況やケアの仕方等も情報交換している。又、馴染みの職員が3日～5日に1回は面会に行くようにしている。家族とも頻繁に情報交換を行い、スムーズに退院が出来るようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に家族に終末期、看取りについて説明を行なっている。又、事業所が対応出来るケアについても説明をしている。重度化した利用者については、主治医の指示判断のもと家族と、今後の方針について話し合い理解して頂いている。	入居時に重度化した場合や看取りについて説明を行い同意書も取得している。重度化の指針もあり事業所として重度化や終末期に向けた方針の共有ができています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	入居者の急変時、事故発生に備えて適切な対応が出来るようにマニュアルを作成し、勉強会等も行なっている。普通救命講習を9割の職員が受講し、実践力を身に付けている。		

鹿児島県 グループホーム山田の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に防災訓練を行なっている。地域代表の方との協力体制もあり、訓練等にも参加していただいている。、AEDの導入を検討して欲しいと家族より要望があり、AEDを設置している。	夜間想定 of 訓練を含め年2回避難訓練を実施している。地域代表や家族も参加し、近隣へも連絡している。町内会の協力体制も整い、AEDの導入や非常用の備蓄もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活の会話を通じて、本人の気持ちやプライバシーを損ねない言葉かけを行っている。その方により方言やその土地の言葉かけをしている。援助が必要な時でも、本人の気持ちを大切に他人との前での介護や誘導もさりげなく行うようにしている。	本人の気持ちやプライバシーを損ねない対応を心がけ、特に排泄の時などさりげない誘導を行うようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活における様々な本人の希望や意向等は、夜間問わずその人が納得できるまで声かけし、対応している。自己決定出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には1日の流れはあるが、利用者のペースに合わせた支援をするようにしている。また、個別ケアの際も、本人とその都度話し合い、行きたい場所等も聞いて入れている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	利用者の生活習慣に合わせて支援している。その方により自分で着替えのできない方等には、選択出来るような支援も行っている。希望により訪問美容も利用している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の旬の食材を使うように工夫している。利用者の方にも季節の行事等も聞きながらメニューに取り入れている。誕生日には本人の意向を聞き献立に取り入れている。	嗜好を聞き誕生日は本人の好きな食事を作っている。下ごしらえや、買い物など利用者の力量に応じた手伝いももらっている。外食を楽しむ支援もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体調と1日の摂取量を把握し、状態に応じ主治医より高カロリー補助食品を出してもらっている方もいる。また、大まかな刻み食や、とろみ食も提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけを行ない、自分で出来ない方には、口腔ケア介助をしている。その方により歯間ブラシを使ったりしている。夜間帯にはポリデントに浸けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、定期的にトイレの声かけ誘導等を行いトイレで排泄出来るように支援している。	利用者個々の排泄パターンを把握し時間事の誘導を行い支援して、トイレでの排泄ができるようになった利用者もいる。排泄の自立に向けた支援が的確にできている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事形態や、水分補給に努めている。又、本人の要望、声かけ、日々の観察記録により、便秘時薬を処方して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には入浴日が決まっているが、なるべく、本人の意向に沿えるように、又、拒否される時は時間をおいて、再度声かけて入浴出来るよう提供している。	基本的に入浴日は決まっているが、本人の意向に沿えるようにしている。入浴剤も使用し職員と会話しながらゆっくりと入浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の声かけや、レクリエーション等を行い、夜間にゆっくり休まれるように生活リズムを整えて入る。寝つかれない時は、会話をしたり、水分補給に努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬情報ファイルや薬の保管にも注意している。薬の変更等があった時などは、申し送りノートや、全職員に伝わるように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の得意分野が発揮出来る様をお願いして、無理のない程度で力を発揮して頂けるようにしている。また労いの声かけ等も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出の訴え等がある時は、スタッフ同行で近くのスーパーに頻繁に出かけられるようにしている。月1回の戸外レクリエーションには家族の協力も得て外出している。	日常的に散歩や近隣のスーパーマーケットでの買い物などに出掛けている。月1回の戸外レクリエーションやカラオケなど家族の協力を得ながら外出の支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の所持については、入居前にご家族と相談して少額のお金を持っている方もいる。外出時にスタッフ、または、家族同行で、自分で支払いが出来るように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話は事務所にあり、いつでも使用できるようにしている。電話を掛けたいと訴えがある時や、電話がかかって来た時にもゆっくりと話が出る様に努めている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の室内は空調や温度管理している。また、共有空間においても個々の方々の混乱がないよう席等にも配慮している。行事の写真や、季節に合った飾りつけをしている。	施設の中央に共用空間があり、空調や湿度も管理されている。季節の花や行事の写真も飾られ、また中庭が2階上まで吹き抜けになっていて、居心地よく過ごせる工夫がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間でもソファや椅子の配置を工夫したり、一人独りのリズムまた、仲の良い入居者同士が落ち着いて会話出来る様に工夫している。		

鹿児島県 グループホーム山田の里 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には私物の使い慣れた持込があり、写真や家具など本人、家族とともに飾付けや、配置をされている方もいる。	居室には使い慣れた私物の持込があり、写真・位牌・本など飾りつけている。本人が居心地よく過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の心身状況に合わせ、一人一人が分かる力を見極めて案内の目印をつけたり、家具の配置等に努めている。	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム山田の里 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム山田の里 1ユニット

66	職員は，生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない